

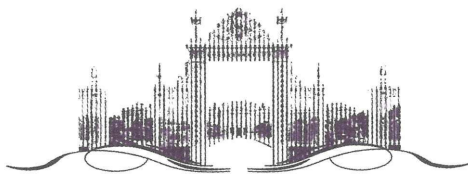


Rotary International
SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005～2006年度

国際ロータリーテーマ:カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.909 / 2006.5.26

例会 / 毎週金曜日12:30

例会会場 / 東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 小杉修造会長

●本日の例会 / 2006年5月26日第931回例会

卓話

「企業のリスクマネジメント」

(株)ピー・ディ・エス・サポート代表取締役 打出良夫氏

(紹介者 松永秀和君)



5月19日 / 10件21,000円 / 本年度累計1,119,000円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

小杉修造 / 米山奨学記念会より、福島さん、功労賞を受け、おめでとうございます。福島賢哉 / 米山功労者賞をいただきありがとうございます。清水実 / 私が嫁と一緒にやっている合唱団の発表会が6月10日(土)にあります。聴いてやろう、という方は清水に。石井謙次 / 勝山さん結婚おめでとうございます。武下朗 / 椎名さん、ご苦労様です。田村昭二 / 岡本さんようこそいらっしゃいました。これからも頑張ってください。勝山洋光 / 5/14に結婚しました。御出席頂いた方々、御祝辞を頂いた小杉会長、福島幹事、どうもありがとうございました。岩上義明 / 今週末は浅草の三社祭です。お天気が晴れますようにニコニコします。尾上寛 / 誕生日お祝い有難う御座います。吉田用親 / 椎名さん、途中までニコニコ代行ありがとうございました。皆さん、多額のニコニコありがとうございました。

— ●先週報告 / 2006年5月19日第930回例会 — 会長特別報告:

- ①「風の子会」事務局 岡本様へ寄付10万円をお渡しいたしました。
- ②土屋副会長がロータリー財団ベネファクターへ寄付されたことへの感謝の辞
- ③福島幹事へ米山功労賞の表彰状をお渡し致しました。

幹事報告: ①6月9日(金) 例会後13:10～15:00に本年度第6回・次年度第1回クラブ協議会を開催いたします。テーマは「本年度各委員会活動報告と次年度各委員会活動計画」です。理事、役員、委員長、副委員長はもとより、全会員のご出席をお願いいたします。本年度各委員長は「本年度各委員会報告書」、次年度各委員長は「次年度各委員会計画書」を6月2日(金)までにご提出ください。

②6月23日(金)に夜間例会(最終例会)、新会員歓迎会、打ち上げ会を開催いたします。場所はJR原宿駅徒歩3分のところにあります「ステージY2」となります。会員はもとより、奥様・ご家族の皆様を含む多数のご参加をお待ちしております。

③マッチンググラウンドを東京南ロータリークラブと合同で、今年度次年度継続活動として行います。詳しくは早川委員長よりご報告をして頂く予定です。

親睦活動委員会:(清水会員)

5月27日(土)から5月28日(日)の親睦旅行の予定につきましてご連絡いたします。27日は、午前7時30分赤坂見付赤坂東急ホテル前集合、7時45分出発で午後2時ごろアフターの森へ到着予定です。宿泊は「あぶらや燈千」となり、午後4時30頃到着予定。翌日28日は、午前8時30分にホテルを出発し、12時に小布施で昼食をとり、午後5時30分頃東京へ到着いたします。

慶事披露: 誕生日祝 /
尾上寛君 (5月20日)

出席報告: 会員55名 / 出席35名・欠席20名 (出席規定免除者5名) ビジター2名、ご来賓1名

第3回 創立20周年記念行事準備委員会議事録

日時 2006年4月28日(金) 11:00～12:00

場所 東京全日空ホテル 1F かすみ

出席者 小荒木、吉田(用)、柴本、小杉、福島、西澤(正)、武下、大日方、新保、山川、竹本、馬場、石井 (敬称略・順不同)

報告事項

1. 山川祝典委員長より祝賀会の出演者選定の件で、音羽ゆりかご会の出演依頼に関して見積書の提出と説明があった。
2. 大日方記念事業副委員長より下記の報告があった。
 - ① 内向けの活動と対外向けの活動と二つの考え方がある。
 - ② パネルディスカッション、シンポジウム、フォーラム、グループ討議の開催。
 - ③ 赤坂地区を歩いて散策し赤坂の町を探求する。
 - ④ 障害者と町に出よう
 - ⑤ オリーブ木、プランタン(花壇)などを学校に寄贈。
 - ⑥ アイメイト協会に赤坂1号の寄贈。
 - ⑦ 記念講演会、チャリティコンサートの開催。
 - ⑧ 時計台の寄贈(赤坂ロータリーの名入り)。
 - ⑨ 6月末にはまとまった案を提出したい。

決定事項

1. 例会で20周年記念事業準備委員会の報告をする。
2. 当日の祝賀会の出演者を音羽ゆりかご会に決定する。
3. 次回の委員会は5月26日(金) 11時より全日空ホテルで開催する。

●次週予告 / 2006年6月2日第932回例会

◎卓話予定

『A Turning Point』

イニシエーションスピーチ

当クラブ会員 長谷川尊一君

R1 第2750地区2006～2007年度地区協議会

日 時 2006年4月25日(火) 10:00～17:00
場 所 ホテルセンチュリーハイアット東京
ホストクラブ 東京羽田ロータリークラブ

第1分科会

次期会長 荒木昭文

リーダー 次年度谷島ガバナー、浅田研修リーダー補佐のもとテーマ「西暦2106年私のロータリー・クラブは・・・」ーポール・ハリスは泣いていないか・・・?、100年後にロータリーは、クラブは存在しているのかという難しい課題ではあったが、出席者クラブ85名、地区13名が9グループに別れ、CLP導入・会員増強・奉仕活動等の課題を各クラブ毎に討議、発表した。

特にCLP導入については50%のクラブが次年度または次々年度で導入予定、残り50%のクラブも導入を前提に検討中、但し1クラブは反対とのことであった。大人数のクラブも少人数のクラブも100年後とは言わなくても、それぞれにこれからの時代にロータリークラブが生き残るために、よりクラブを活性化する方策に悩み、模索していることがよくわかった。

第3分科会 「会員組織委員会」

次期会員増強委員長 清水 實

テーマは『クラブ活性のために如何に会員を増強し、ロータリー情報を伝達するか』

始めにカウンセラーである市川伊三夫ガバナーの話
ゴルフでも芯に当てる事が一番重要、ロータリーの芯は会員増強である。

全体会議でも出たアンケートの結果、80%の人がロータリーに入会して満足して活動をしているのに、70%にロータリアンが今後ロータリーは衰退していく、と答えているのはどうして?

何もしていないのでは?という言葉の続きで皆がロータリーを楽しくしよう、面白くしようという気持ちが足りないのではないかと、との話しがあった。

続いて会員組織委員長の竹腰昌明さん(東京調布)の『会員組織委員会とは』という話

ロータリーの起源から話され、相互扶助から社会奉仕が生まれ、<奉仕する者は行動しなければならない>として、ウィリアム・ボイド氏の<私たちのクラブが魅力的で効果的であれば、会員増強や退会防止はそれほど大きな問題ではありません>と締めくくられた。

会員増強拡大副委員長 三好徹氏の話、ロータリー情報委員長 新宮英幸氏の話に続きグループディスカッションがあり、各グループの発表があったがその中の話題を報告しておく。

- 1) 東京芝ロータリーでは青芝会という入会の浅いメンバーで月1回集まり親睦を深め、それにより早く会員相互が知り合い、親しみが増し効果がある、旨の話あり。
- 2) 東京レインボーは夜間の6:30からの例会なので後をきいせず出来る。
- 3) 一方東京城南のように朝例会なので親睦は結構難しい、という会もある。
- 4) 全体的に女性会員はまだ少なく、特に千代田グループは保守的(?)で女性0のクラブが多い。東京中央新のように、男性会員が欲しい、というクラブも。ここは全体会員数40人くらいに女性35人くらい。
- 5) 退会を防ぐために、会社を退任したメンバーは会費を半額にしているクラブもある。本来はそういう場合は後任に入会してもらい本人は会費半額、が主旨だが後任のアサインがないケースも多くなっている。それでも会に留まってもらったほうが良いので、との報告もあり。

いずれにせよ今回の会議では①行動すること②会を面白く魅力的にすること、が大きなテーマだった。

第4分科会 「クラブ広報の在り方とクラブ広報委員会の設置」

次期クラブ広報委員長 村山公士

クラブリーダーシッププラン(CLP)の適用で、クラブ広報委員会は、従来クラブ奉仕委員会の一委員会にすぎなかったものから、一転して5大委員会の一つとなり、大きな役割を担うことになった。これまでロータリーは伝統的に大げさに宣伝することをよしとしない風潮があったが、これを機にむしろ積極的にPRをしていこうとする表れであるとの説明から分科会はスタートした。広報委員長からはこれらの説明とともに、広報の具体的事例としてDVD映像による紹介が行われた。具体的にどのような方法で広報活動を行ってゆくかについて会場とのやり取りがあったが、広報の難しさをうかがわせるものだった。

さらに、ロータリーの友地区委員、ガバナー月信委員長からの説明、年次報告書作成委員長からの途中経過の報告、そしてIT委員長からの地区ホームページの紹介および今後のIT化に向けての方針の説明が行われた。盛り沢山な内容であると同時に、広報委員会がクラブ内のすべての活動に気を配る必要があることが示されていた。

第7分科会 「未来のロータリアンを探しませんか」

次期社会奉仕委員長 庄司泰典

1. リーダーの海沼美智子新世代委員長(東京恵比寿RC)よりRIにおける青少年活動の歴史及び位置づけと概略について以下の報告があった。
 - a) 最初は障害児のリハビリセンター作りから始まり、その後1923年セントルイス国際大会で討議され、恵まれない子供達を対象に始められた。
 - b) 1949年RI理事会が標語(各ロータリアンは青少年の模範)を採択。1996-1997年度にジアイRI会長によって新世代委員会と改称された。
 - c) RIが青少年に関わっている主なものは、青少年交換、ロータリー財団国際親善奨学金、ポリオ撲滅、インターアクト、ローターアクト、RYRAに代表される。
 - d) 青少年交換はこの夏、10名を派遣・受け入れる。派遣生は帰国後ROTEXとして組織化している。各RCに働きかけて、スポンサー、ホストファミリーを依頼している。
2. 森田光一インターアクト・ローターアクト委員長(東京大森RC)より以下の報告があった。
 - a) インターアクトとローターアクトが統合されて、1つの委員会になった。
 - b) インターアクトクラブ活動は14～18歳の高等学校等の生徒の社会奉仕と国際理解の促進を行い、各RCがスポンサーとなる。都内に12クラブある。
 - c) インターアクト活動は18歳～30歳の青年男女の地域社会奉仕、国際理解の促進、個人の責任感を重視、各RCがスポンサークラブとなる。都区内に14クラブある。
3. 八幡恵介RYRA委員長(東京中央RC)より以下の報告があった。
 - a) RYRA活動は始まって2年経過し、高校生15名と20歳～30歳28名のRYRArianを輩出した。28名の中の3名がローターアクトに入会した実績を持っている。
 - b) 海外ではロータリアンの子弟の多くが、RYRA研修に参加、ロータリアンへの登竜門となっている。
 - c) 今秋研修会があるので、各クラブでも研修生を発掘して欲しい。またRYRA認識を高める為に、卓話の出前を行う用意もある。

※地区協議会は次号へ続きます。